

## 平成 26 年度事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人  
まちづくり機構ユマニテさが

### 1 事業の成果

平成 26 年度は、今後に向けた新たな起点となる施設が生まれたことで、街なかの賑わいの創出につながる兆候が感じられる年であった。主な施設としては、「マチノシゴトバ COTOC0215」、「ぶらっ〜と 249」、「まちの間 3（さがよかこの家）」などである。

マチノシゴトバ COTOC0215 は、(株)ワークヴィジョンズがプロデュースするシェアードワークプレイス（兼佐賀事務所）であるが、コミュニティ拠点として街に強いインパクトを与えている。呉服町は北に COTOC0215、南にわいわい!!コンテナ 2 という 2 つのコミュニティ施設に挟まれた形になり、これまで見られなかった独特の景観、空気感が醸成されており、特に、佐賀城下ひなまつり期間に実施した「オープンシャッタープロジェクトひなの店」は、予想を上回る 42 名の応募者があり、エリアとしての魅力度が増していることを証明する結果となった。

「ぶらっ〜と 249」については、地（知）の拠点事業として、平成 26 年 8 月に呉服元町地区にオープンした西九州大学の街なか活動の拠点となる施設であるが、この施設が生まれたことで、同大学及び学生の街なかでの活動が活発化し、市民に認知され始めてきている。

「まちの間 3（さがよかこの家）」については、空き店舗をリノベーションし、平成 26 年 4 月からシェアハウスとして運営しているが、現在、佐賀大学生 6 名が住んでおり、学生の街なか居住を推進することで、賑わいづくりにつながっている。

テナント誘致事業については、「戦略的商機等集積支援事業」と「商業者育成事業」があるが、前者は、当初 5 件の目標に対し 2 件（飲食店）が出店、後者は入店していた 3 店舗すべてが中心市街地での独立開業を遂げた。今後、順調に成長していけるように経営指導等のサポート体制を強化していく必要がある。

賑わいづくりイベントに関しては、主な取組として、「街なかバル」、「BOOK マルシェ」、「楠の杜手づくり市」等を実施した。「街なかバル」は、定着してきており認知度も上がり、回遊性の向上につながっているが、より参加店が主体となるイベントに改善しなければならない。「BOOK マルシェ」は街づくりの担い手となる市民活動団体を育成する

狙いで「BOOK マルシェ+C3」という新しい連携にチャレンジした。「楠の杜手づくり市」は出店希望者の増加に応えるべく、会場を2つに増設するなどスケールアップさせた。

今後の課題としては、市民活動団体等と連携し、街づくりの担い手を育成することで、当機構が街をコーディネートしていくこと。そして足腰のしっかりした組織として自立できるように、あらゆる事業において収益性を高めてことである。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

### その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	<b>街なかかわらばん発行事業</b> 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、街なかの人や動き兼情報等を広く知らせることで、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に関するもの (E) 不特定多数	2,675

	各 10000 部を 6 回発行			
	<b>ホームページ運営事業</b> 街なかかわらばんととの連携を強化し、特に物件情報の提供に注力した。また、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2 人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	536
	<b>電波媒体による情報発信</b> ぶんぶん TV の「街なか情報」に数多く出演し、主にイベントの告知を中心にした広報活動を行った。その他コミュニティ FM を活用した広報活動等も行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 佐賀市。コミュニティ FM は旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	682
②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	<b>街なか居住等事業</b> 街なか居住に関して実践的に研究する佐賀大学都市工学系学生のためのシェアハウスの管理事業、また同じ建物にさが恵比須ステーションを開設し、街づくりの拠点施設として管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1 人	(D) 来街者 (E) 不特定多数	3,096
	<b>街なかいきいき活動拠点事業</b> 「わいわいコンテナ 2」を設置、コミュニティ拠点施設として市民がどんなイメージを持つかを検証するとともに、回遊性向上を図る社会実験を継続して行った。	(A) 4 月～3 月 (B) 松原二丁目 (C) 4 人	(D) コンテナ来場者 (E) 約 69,000 人	11,468
	<b>まちなか交流広場管理事業</b> 街なか交流広場（6 5 6 広場）の指定管理者として、施設を管理するとともに、イベント開催等活用促進を図った。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 4 人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 不特定多数	1,997
	<b>地域連携施設支援事業</b> 西九州大学による地（知）の拠点事業を効果的に実施するための拠点を設置し、地域貢献の取組施設として活用することを支援した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 1 人	(D) 佐賀市民を中心にした一般人 (E) 不特定多数	1,800

	<b>佐賀商工ビル管理事業</b> 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 一般人 (E) 不特定多数	3,063
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	<b>共通駐車サービス券事業</b> 中心市街地の加盟駐車場で利用できる共通駐車券を活用して、商店街、個店、事務所へのアクセスを容易にし利便性を高めることが目的。参加登録駐車場を4か所増加させ利便性を高めた。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 共通駐車券を利用する店舗、事業所等、及び加盟駐車場の顧客 (E) 店舗事業所の顧客	1,849
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	<b>地域商業自立促進調査事業</b> 中央大通りの再生計画の基本資料の作成を目的として、地域住民に対するニーズ・マーケティング調査を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地居住者と周辺佐賀市民 (E) 不特定多数	5,295
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	<b>サガライトファンタジー</b> インターナショナル・バルーンフェスタの開催に合わせて、市街地の各エリアを各団体が分担して飾り付けをする事業。当機構は656広場、コンテナ等を担当した。	(A) 平成26年10月29日～平成27年1月11日 (B) 中心市街地 (C) 6名	(D) 来街者 (E) 不特定多数	1,598
	<b>BOOK マルシェ事業</b> 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A) 10月4日、5日 (B) 松原二丁目及び呉服元町 (C) 10人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	2,778
	<b>ほとめきぶらり旅事業</b> 少人数による街なか再発見の旅プランを2コース各2回、延べ4コースで実施した。	(A) 平成27年3月22日 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 県内外の応募者 (E) 41人	724
	<b>佐賀北高書道部揮毫会</b> 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国コンクール19連覇の佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 5月17日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 北高生及び観客 (E) 約250人	666

⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	<b>Re-原っぱ芝張り</b> 呉服元町の福岡デリカと焼肉ひらぬまの間の空地进行緑化し、656広場と連動させることでイベントをブラッシュアップする狙いで市民による緑化に取り組んだ。	(A)7月19日 (B)呉服元町 (C)5人	(D)一般市民 (E)約100名	978
⑦中心市街地公共空地等の管理事業	<b>唐人町緑道管理事業</b> 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A)通年 (B)唐人二丁目 (C)3人	(D)地域住民及び通行者 (E)不特定多数	582
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	<b>未実施</b>			
⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	<b>未実施</b>			
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	<b>エスプラッツ誕生祭</b> 佐賀青年会議所とタイアップして実施。エスプラッツ南側道路では雑貨販売や縁日を開催。4日は雨天のため、ビンゴ大会をエスプラッツ北側アーケードで実施。	(A)8月2日、3日 (B)エスプラッツ、白山 (C)5人	(D)祭参加者、観客、観衆 (E)不特定多数	1,563
	<b>さが街なか図書館</b> 市街地の専門店8事業所に対して、当店の専門書をベースにしたミニ図書館を開設。利用者が店舗間を行き来する仕掛けづくりを企画した。	(A)平成26年10月1日～平成27年3月31日 (B)中心市街地全域 (C)1人	(D)来街者 (E)不特定多数	971
	<b>バルーンサテライト事業</b> 松原神社では恒例の佐賀城下骨董市を開催、656広場では、街なか動物園、キャラクターショー、三夜待ナイトを実施し、バルーン期間中の街なかの賑わいを創出した。	(A)11月2日～3日 (B)中心市街地内 (C)7人	(D)県内外のバルーン観客 (E)不特定多数	965
	<b>第8回桶の杜手づくり市事業</b> 全国の手づくり作家を迎えての手づくりアートフェスタ。第8回を迎え、市民にも出店者にも人気イベントとして定着してきた。	(A)平成27年3月14日、15日 (B)白山町八幡神社 (C)7人	(D)県内外から出店の80店、及び来店者 (E)約6,000人	2,851

	<b>公募型空き店舗対策事業</b> 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数(審査の結果出店に至った者4店舗)	13,102
	<b>商業者育成事業</b> 独立開業を志す起業家に、1年間の実施トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。2店舗が出店した。	(A) 通年 (B) 唐人一丁目 (C) 3人	(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 出店者2店舗	8,140
	<b>玉屋わくわくランド</b> わいわいコンテナを拠点に、子どもたちを対象としたイベント(カブトムシつかみどり、ヤマメつかみどり等)を実施し、街なかの賑わいを創出した。	(A) 5月3日～6日 (B) 佐賀玉屋、わいわいコンテナ (C) 3人	(D) 一般市民 (E) 4,461人	905
	<b>商店街魅力づくり事業</b> 佐賀大学の地域貢献施設「ゆつつら～と館」の運営管理を支援することで、佐賀大学の街なか拠点として利用されたことにより、商店街の活性化につなげた。	(A) 通年 (B) ゆつつら～と館 (C) 1人	(D) 一般市民 (E) 625人	1,320
	<b>コンテナサマー・オータム・ウィンタースクール</b> わいわいコンテナ2を拠点にした子どもを対象としたイベントを実施することで、街の賑わいづくりを図った。	(A) 7月26,27日、11月1日、12月15日 (B) わいわいコンテナ2 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 2,438人	2,166
	<b>佐賀市街なかバル事業</b> 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。街なかの店を多くの人に知ってもらい、最終的に活性化に結びつけること。また、イベント会場を複数店舗とすることで、経営者の意識改革を図り、回遊性を向上させることを目的に実施した。	(A) ①平成26年10月30日～11月3日 ②平成27年2月25日～3月1日 (B) 中心市街地内 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) チケット 1回目 1600人 2回目 1000人 合計 2,600人	1,177
	<b>キッズダンスコンテスト</b> 昨年に続き第2回目を実施した。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。	(A) 平成27年3月21日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 出場者及び観客 (E) 約1000人	418

	<b>わくわくクーポン券事業</b> 毎年嘉瀬川河川敷で開催される熱気球大会に車で来場する方を、佐賀市の中心部に誘導する手法としてクーポン券を渡し、市街地で買い物をしてもらい、中心部の商業の活性化を図る。	(A) 11月～12月 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 車で会場を訪れる気球大会の観客及びクーポン券利用店舗 (E) 約1,000人(販売枚数より推定)	606
	<b>銀天夜市協賛事業</b> 中心商店街の夏の夜の風物詩となっている銀天夜市を、地元商店と共催でカラオケ大会等を実施し、賑わいづくりを支援した。	(A) 7月5日～8月2日の全土曜日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 出場者及び観客約2,100人	631
	<b>えびすビアパーティー</b> えびすビールと佐賀の恵比須像を関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図った。	(A) 7月24日 8月27日 (B) 呉服元町 (C) 5人	(D) 一般市民及び協賛店舗 (E) 参加者約1,100人	896
	<b>入店誘導促進事業</b> 集客力のある事業所に転貸を行い、中心市街地の賑わいづくりを図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者 (E) 転貸者2件	1,897
	<b>街なか再生計画推進イベント</b> コイマチファンタジー：中央大通りを歩行者天国にし、ファッションショーやライブなど美をテーマとしたイベントを開催した。 WINTER MILKY WAY：クリークシンポジウムなど、クリークを活かした街づくりのための啓発イベントを実施した。	コイマチファンタジー： (A) 11月22日 (B) 中央大通り (C) 2人 WINTER MILKY WAY： (A) 平成27年1月11日 (B) ゆつつら～と館、松原川 (C) 3人	コイマチファンタジー： (D) 一般市民 (E) 参加者約1,450人 WINTER MILKY WAY： (D) 一般市民 (E) 参加者250人	7,401
①中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	<b>魅力アップリーディング事業</b> 空き店舗の情報収集や経営相談、街なかで活動する市民の組織化と側面等を行う	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 4人	(D) 中心市街地に出店を考える起業家、商業者、市民活動団体及び個人 (E) 不特定多数	18,377

⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	<b>のまん缶太事業</b> 飲料水の街づくり支援自動販売機を4台設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数の購買者	222
-------------------------	--	--------------------------------	---------------------------	-----

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	<b>えびす駐車場事業</b> 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目・ (C) 2人	20,235
	<b>佐野駐車場事業</b> 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	534
② 不動産仲介事業	未実施		0